

間).

強熱残分 5.0 % 以下 (1 g).

定量法

(1) でんぷん消化力

(i) 基質溶液 でんぷん消化力試験用バレイショデンプン試液を用いる。ただし、pH 5.0 の 1 mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 10 mL の代わりにパンクレアチン用リン酸塩緩衝液 10 mL を加える。

(ii) 試料溶液 本品約 0.1 g を精密に量り、適量の氷冷した水を加えて振り混ぜ、更に氷冷した水を加えて正確に 100 mL とする。この液 10 mL を正確に量り、氷冷した水を加えて正確に 100 mL とする。

(iii) 操作法 消化力試験法 (1) でんぷん消化力試験法 (i) でんぷん糖化力測定法により操作する。

(2) たん白消化力

(i) 基質溶液 消化力試験法 (2) たん白消化力試験法の基質溶液 2 を用いる。ただし、pH は 8.5 に調整する。

(ii) 試料溶液 本品約 0.1 g を精密に量り、適量の氷冷した水を加えて振り混ぜ、さらに氷冷した水を加えて正確に 200 mL とする。

(iii) 操作法 消化力試験法 (2) たん白消化力試験法により操作する。ただし、沈殿試液はトリクロ酢酸試液 B を用いる。

(3) 脂肪消化力

(i) 乳化液 ポリビニルアルコール I 18 g 及びポリビニルアルコール II 2 g を量り、消化力試験法 (3) 脂肪消化力試験法により調製する。

(ii) 基質溶液 消化力試験法 (3) 脂肪消化力試験法に規定するものを用いる。

(iii) 試料溶液 本品約 0.1 g を精密に量り、適量の氷冷した水を加えて振り混ぜ、更に氷冷した水を加えて正確に 100 mL とする。

(iv) 操作法 消化力試験法 (3) 脂肪消化力試験法により操作する。ただし、緩衝液は pH 8.0 のリン酸塩緩衝液を用いる。

貯法

保存条件 30 °C 以下で保存する。

容器 気密容器。

ハンゲ

Pinellia Tuber

PINELLIAE TUBER

半夏

本品はカラスビシャク *Pinellia ternata* Breitenbach (*Araceae*) のコルク層を除いた塊茎である。

性状 本品はやや偏圧された球形～不整形を呈し、径 0.7 ~ 2.5 cm、高さ 0.7 ~ 1.5 cm である。外面は白色～灰白黄色で、上部には茎の跡がくぼみとなり、その周辺には根の跡がくぼんだ細点となっている。質は充実する。切面は白色、粉性である。

本品はほとんどにおいがなく、味は初めなく、やや粘性性で、後に強いえぐ味を残す。

本品の横切片を鏡検するとき、主としてでんぷん粒を充満

した柔組織からなり、わずかにシュウ酸カルシウムの束晶を含む粘液細胞が認められる。でんぷん粒は主として 2 ~ 3 個の複粒で、通例、径 10 ~ 15 μm 、単粒は、通例、径 3 ~ 7 μm である。束晶は長さ 25 ~ 150 μm である。

純度試験 *Arisaema* 属植物及びその他の根茎 本品を鏡検するとき、皮部の外層に粘液道を認めない。

乾燥減量 14.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 3.5 % 以下。

絆創膏

Adhesive Plaster

製法 本品は精選したゴム、樹脂類、酸化亜鉛及びその他の物質を練り合わせ、粘着性物質とし、布に均等に延べて製する。

性状 本品の膏面は類白色を呈し、皮膚によく付着する。

純度試験 粘着性物質 本品は布面に粘着性物質を著しくしみださない。また、ロール状のものを延ばしたとき、粘着性物質が著しく次の層の外面に移らないし、皮膚にはり付け、これをはがすとき、皮膚に著しく粘着物質を残さない。

形状試験 本品は、通例、長方形でその長さは表示の 98 % 以上である。また、その幅を適当な距離において 5 箇所測定するとき、平均値は表示の 94 % 以上である。

引張り強度 本品を縦糸に沿い、標準幅 12 mm、長さ約 200 mm の面に調製し、あらかじめ亜硝酸ナトリウム飽和溶液の蒸気で飽和したデシケーターに入れ、常温で 4 時間放置した後、振り式試験機などで、標点距離 150 mm にして 25 ~ 50 mm 幅の留金で堅くはさみ、1 分間 300 mm の速度で引張り、切断までの最大荷重を測定するとき、試料 10 個の平均値は 7.5 kg 以上である。ただし、標準幅に満たないものは標準幅に換算して算出する。

粘着力試験 本品を縦糸に沿い、標準幅 12 mm、長さ約 250 mm の面に調製し、あらかじめ 37 °C の恒温器に 30 分間放置した幅約 25 mm、長さ 125 mm、厚さ 5 mm のフェノール樹脂製の試験板に一端を合わせて幅 12 mm、長さ 125 mm に速やかにはり付け、直ちに質量 850 g のゴムローラーを 1 分間 300 mm の速さで本品の上を 2 回通過させる。これを 37 °C の恒温器に 30 分間放置した後、本品の試験板にはり付けた自由端を 180 °角に折り返して、試験板の先端から約 25 mm はがした後、引張り試験機を用い、本品の自由端は上部に、試験板は下部に留金で堅くはさみ、1 分間 300 mm の速さで連続して引きはがし、約 20 mm 間隔で 4 回の荷重を測定するとき、その平均値は 150 g 以上である。ただし、標準幅に満たないものは標準幅に換算して算出する。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 密閉容器。

沈降 B 型肝炎ワクチン

Adsorbed Hepatitis B Vaccine

本品は B 型肝炎ウイルスの表面抗原を含む液にアルミニウム塩を加えて B 型肝炎ウイルスの表面抗原を不溶性とし